

施設利用者が作る多彩な作品

豊橋のさくらピアで“まつり”、 東日本大震災復興支援企画も

豊橋市東新町の市障害者福祉会館「さくらピア」で、「さくらピア春こいまつり」が開かれている。3階大会議室を会場に、館利用者らの作品を展示しているほか、楽器演奏やフラダンスなどのステージも動画で紹介している。28日まで。

障害者の理解啓発をはじめ、東日本大震災や熊本地震被災地の復興応援などを目的に、全館あげて開く恒例の催し。例年は1日だけ実施し、展示やステージ発表、バザーや模擬店などを展開するが、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、密を防ぐため展示のみ通常の1日から8日間に変更して実施。ステージ発表は事前収録したものを放映した。

会場には館内の文化教室やサークルによる陶芸や絵画、さをり織り、書、七宝焼、和紙工芸、草工芸、折り紙、寄せ植え、絵手紙、クラフトと、多彩な作品170点が並んだ。会期が長いため、休日に来られない人も鑑賞できると好評だ。

東日本大震災復興支援の一環として、期間内の来場者を対象に、抽選で30人に福島の福祉施設による菓子が当たる「お楽しみプレゼント」も実施している。【田中博子】



利用者らの作品が並ぶ会場＝さくらピアで